

市町村名		中城村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	吉の浦体育館施設機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	サッカーをはじめとするスポーツキャンプの誘致に資するとともに村民の健康づくりに活用するため、吉の浦体育館内のトレーニングルームに器具を設置した。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	13,545					
	(b) 予算現額	13,545					
	(c) 増減額 (b-a)	0					
	(d) 前年度繰越額	-					
	A. 計 (b+d)	13,545	0				
	B. 執行済額	13,545					
	うち交付金充当額	10,836					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況	予算の状況の説明 計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	各種機器の設置 ・体内脂肪計 ・全自動血圧計 ・有酸素マシン・トレッドミル ・エアロバイク ・その他各種トレーニングマシン等	目標	( トレーニング器具設置 (19器具) )	( )	( )	( )	
		実績	トレーニング器具設置 (19器具)				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	・プロスポーツキャンプの誘致、村民の健康作り体力向上のため、トレーニング器具の設置を24年度で行い、25年度より運用を開始していく。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)	
	吉の浦体育館にトレーニングジム設置	目標	( - )	( トレーニングジム設置 )	( )	( )	( 利用者数 6,000人/年 )
		実績		トレーニングジム設置			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	・H25年4月よりトレーニングルームを開設して運営を行っている。利用時間を13:00～21:00としているが昼間の利用者が少なく目標を下回っている。 ・1月～3月の期間プロスポーツ選手の利用が期待できる。					

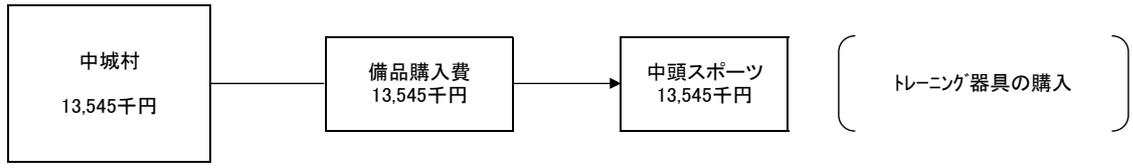
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・トレーニングルームが開設されたことを知らない方もおり施設利用者が少ないと思われる。	・広報誌・ホームページ等を活用し、地元利用者である村民をはじめ、新たにトレーニングルームが開設されたことを広く村内外に向け発信していく。

**今後の取り組み方針**

・健康教室等を開設し、中高年者に運動器具の利用を体験させることによって施設利用者の増を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
13,545	13,545	10,836	2,709	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・施設の利用者は、まだ少ないが広報・健康教室等を行い周知をすることで利用者は増えると思われる。また1月～3月までのプロスポーツキャンプでの使用者も見込まれ、事業は妥当だと考えられる。 ・スポーツキャンプ状況プロサッカーチーム国外2チーム・陸上競技短距離(オリンピック強化選手)・本土大学バスケットボールチーム3チーム
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

市町村名		中城村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① トマトの安定生産に向けた取組			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
事業内容	トマトの品質向上及び作業効率の向上を図るため、栽培施設へ灌水設備及び防除機を導入した。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,392	0			
		(b) 予算現額	2,200	0			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 192	0			
		(d) 前年度繰越額	—	—			
	A. 計 (b+d)		2,200	0			
	B. 執行済額		2,200	0			
	うち交付金充当額		1,760	0			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	灌水設備設置支援	目標	( 灌水設備設置支援 )	( )	( )	( )	
		実績	支援の実施				
	防除機設置支援	目標	( 防除機設置支援 )	( )	( )	( )	
		実績	支援の実施				
			目標	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	灌水設備及び防除機導入の支援を実施し、農家の作業効率向上や労働力の低減に向けた体制整備を図ることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	灌水設備設置支援件数	目標	( 0件 )	( 3件 )	( )	( )	( — )
		実績		3件			
	防除機設置支援件数	目標	( 0件 )	( 1件 )	( )	( )	( — )
		実績		1件			
			目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
進捗状況説明	灌水設備3件の導入及び防除機1件の導入を支援しており、トマトの品質向上及び作業効率の向上を図るために利用されている。						



市町村名		中城村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③ キャベツの安定生産に向けた取組			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
	担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	キャベツの生育環境改善及び作業効率の向上を図るため、定植機、播種機、運搬機の導入を支援した。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,728				
		(b) 予算現額	4,991				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 737				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	4,991	0			
	B. 執行済額		4,991				
	うち交付金充当額		3,992				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	定植機設置支援	目標	( 定植機設置支援 )	( )	( )	( )	
		実績	支援の実施				
	運搬機設置支援	目標	( 運搬機設置支援 )	( )	( )	( )	
		実績	支援の実施				
	灌水設備設置支援	目標	( 灌水設備設置支援 )	( )	( )	( )	
		実績	支援の実施				
	防除機設置支援	目標	( 防除機設置支援 )	( )	( )	( )	
		実績	支援の実施				
達成状況説明	定植機、運搬機、灌水設備及び防除機導入の支援を実施し、農家の作業効率向上や労働力の低減に向けた体制整備を図ることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	定植機設置支援件数	目標	( 0件 )	( 2件 )	( )	( )	( — )
		実績		2件			
	運搬機設置支援件数	目標	( 0件 )	( 5件 )	( )	( )	( — )
		実績		5件			
	灌水設備設置支援件数	目標	( 0件 )	( 3件 )	( )	( )	( — )
		実績		3件			
	防除機設置支援件数	目標	( 0件 )	( 1件 )	( )	( )	( — )
		実績		1件			
	進捗状況説明	定植機2件、運搬機5件、灌水設備3件の導入及び防除機1件の導入を支援しており、作業効率の向上、労働時間の軽減を図るために利用されている。					

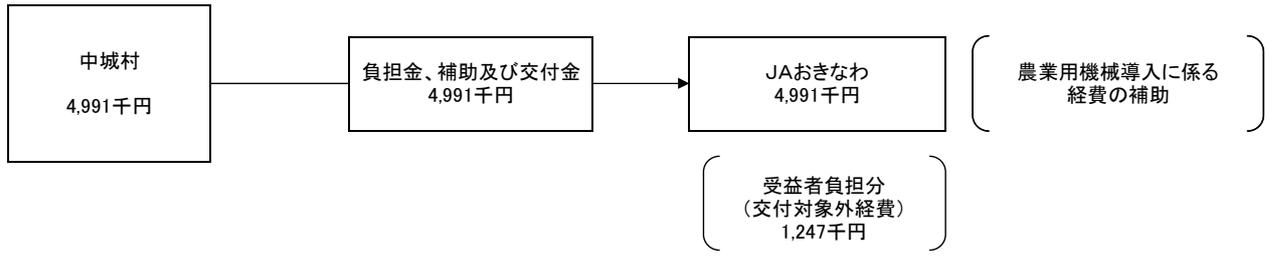
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	導入支援を行った機械の管理及び運用について検討する必要がある。	適切な管理及び運用の指導を行い、労働力の軽減を図り、収穫量増へとつなげる。

**今後の取り組み方針**

事業実施主体と共に機械導入後の管理状況や運用状況を確認し、収穫量増へ向けて指導を行っていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
6,238	4,991	3,992	999	1,247



資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業主体であるJAおきなわは、事業実績があり、中城村内農業にも精通しているため妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○実施主体が入札を行っており、予算規模は妥当だと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は妥当であると考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名	中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④ 輪ギクの安定生産に向けた取組			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
					Ⅲ-1-(6)		
事業内容	輪ギクの作業効率向上および生産拡大を図るため、選別・調整作業の機械化を実施した。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	16,800				
		(b) 予算現額	16,152				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 648				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	16,152	0			
	B. 執行済額		16,152				
	うち交付金充当額		12,921				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	選別機械の導入支援	目標	( 選別機械の導入支援 )	( )	( )	( )	
		実績	支援実施				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
	目標	( )	( )	( )	( )		
	実績						
達成状況説明	選別機械を利用し、収穫後の選別・調整・箱詰め作業時間の軽減を図る為の体制整備が図られた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	選別機械の導入支援件数	目標	( )	( 3件 )	( )	( )	( — )
		実績		3件			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
実績							
進捗状況説明	選別機3件の導入を支援しており、輪ギクの作業効率向上および生産拡大を図るため、選別・調整作業に利用されている。						

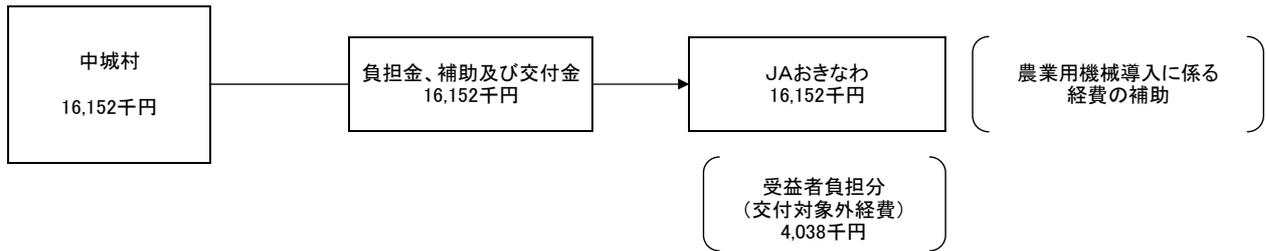
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	導入支援を行った機械の管理及び運用について検討する必要がある。	適切な管理及び運用の指導を行い、労働力の軽減を図り、収穫量増へとつなげる。

**今後の取り組み方針**

事業実施主体と共に機械導入後の管理状況や運用状況を確認し、収穫量増へ向けて指導を行っていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
20,190	16,152	12,921	3,231	4,038



資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業主体であるJAおきなわは、事業実績があり、中城村内農業にも精通しているため妥当であったと考える。 ○実施主体が入札を行っており、予算規模は妥当だと考える。 ○受益者との負担関係は妥当であると考え。 ○費目・用途については、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

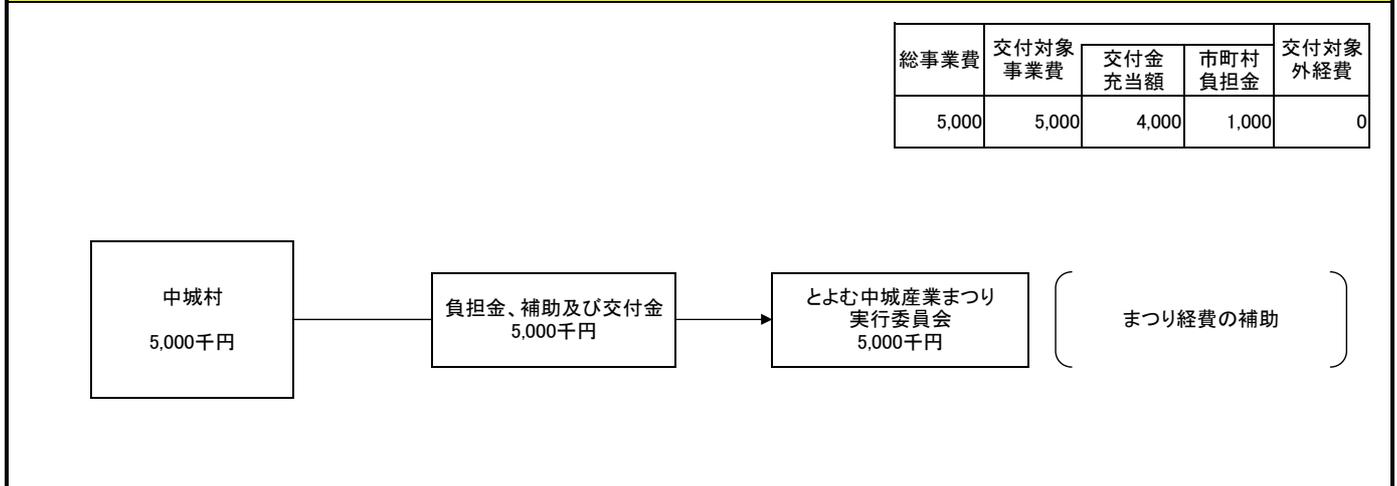
市町村名		中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4 とよむ中城産業まつり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ				
	担当部課名	企業立地・観光推進課		事業実施（予定）年度	平成24年度			
事業内容					沖縄振興基本方針該当箇所	流通・販売・加工対策の強化		
						Ⅲ-1-(4)		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)			5,000				
				5,000				
				0				
				—				
				5,000	0			
			B. 執行済額					
			うち交付金充当額					
			次年度繰越額					
			執行率（%）(B/A)		100.0%			
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	とよむ中城産業まつり開催	目標	( 産業まつりの開催 )	( )	( )	( )		
		実績	産業まつりの開催					
		目標	( )	( )	( )	( )		
		実績						
		目標	( )	( )	( )	( )		
		実績						
	達成状況説明	今回のまつりでは、村内で生産される商品をまずは地元の人を知って、使って、そして広めようという考えのテーマを設定。そのため、村内の全産業が参画できるよう商工会およびJAなど村内の各種団体で構成する実行委員会を立ち上げ、企画運営を行った。その結果、出展数が当初予定の36小間を超える申込があったため、小間数を42まで増やして対応。また、出展内容も農業からサービス業まで多彩な内容で開催することができた。						
	成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
まつり来場者数		目標 ( — )	( 3,000人 )	( )	( )	( — )		
※開催初年度であり次年度以降の実施は未定のため、基準値・目標値の設定なし		実績 2,819						
		目標	( )	( )	( )	( )	( )	
		実績						
		目標	( )	( )	( )	( )	( )	
		実績						
進捗状況説明		来場者数を増やすため県内マスコミの後援をいただき、まつり開催の周知を依頼した。しかし、まつり開催の2日間とも天気が悪く、来場者数は目標値を達成することができなかった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>各種団体で構成する実行委員会形式で企画運営を試みた。その結果、出展小間数は予定数を超え、内容も1次産業から3次産業までの業種が展開したが、既存商品の展示、販売に留まり、新商品の開発や新規の取引先を得るまでの成果には結びつけることはできなかった。</p> <p>一方、これまであまり市場に出ることがなく、味や食感などをPRする機会がなかった野菜を実際に調理した料理を試食してもらった結果、人気を集め、当初予定していた数量を超えて完売し、生産農家は需要があることを知るきっかけになった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者の生産意欲向上につながる企画立案を検討したい。</li> <li>・新商品開発に取り組めるような企画立案を検討したい。</li> <li>・既存企業の技術を紹介するブース設置を検討したい。</li> <li>・来場者数をより多くするための宣伝方法を検討したい。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・今回同様、各種団体による実行委員会で企画運営を行う。
- ・琉球大学の各学部とコラボした企画を検討する。
- ・農産物の収穫体験や企業見学、体験ツアーなどの検討を行う。
- ・世界遺産や文化財を活用した観光ツアーなどの検討を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	<input type="radio"/>	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内の各種団体で構成された実行委員会で事業実施がなされている。そのため、各産業の活性化に向けた事業が実施されているため妥当と考える。</li> <li>・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものへの支出で、支出等に関する書類により確認、適正であった。</li> </ul>
	<input type="radio"/>	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	<input type="radio"/>	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	<input type="radio"/>	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	
<input type="radio"/>			

市町村名	中城村
------	-----

**平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	5-② 防災行政無線Jアラート整備工事	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
			災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
担当部課名	総務課	事業実施 (予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(2)

**事業内容**  
災害や有事の際、通信衛星から村に送信される緊急情報(Jアラート)を防災行政無線で村民等に瞬時に伝達するため、自動起動機を設置した。

**実施方法**  
直接実施    委託    補助    負担    その他 ( )

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	6,448			
		(b) 予算現額	6,247			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 201			
		(d) 前年度繰越額	—			
		A. 計 (b+d)	6,247	0		
	B. 執行済額		6,247			
	うち交付金充当額		4,998			
	次年度繰越額		0			
	執行率 (%) (B/A)		100.0%			
	予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。			

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
Jアラート自動起動機の設置数	目標	( 1箇所 )	( )	( )	( )
	実績	1箇所			
	目標	( )	( )	( )	( )
	実績				
	目標	( )	( )	( )	( )
	実績				
達成状況説明	災害や有事の際、通信衛星から村に送信される緊急情報を防災行政無線で村民等に瞬時に伝達するためのJアラート自動起動機を1箇所設置した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
			24年度	25年度	26年度	
Jアラート自動起動機の設置数	目標	( 0箇所 )	( 1箇所 )	( )	( )	( — )
	実績		1箇所			
	目標	( )	( )	( )	( )	( )
	実績					
	目標	( )	( )	( )	( )	( )
	実績					
進捗状況説明	Jアラート自動起動機が設置されたため、災害や有事の際、通信衛星から村に送信される緊急情報を防災行政無線で村民等に瞬時に伝達することが可能となった。					

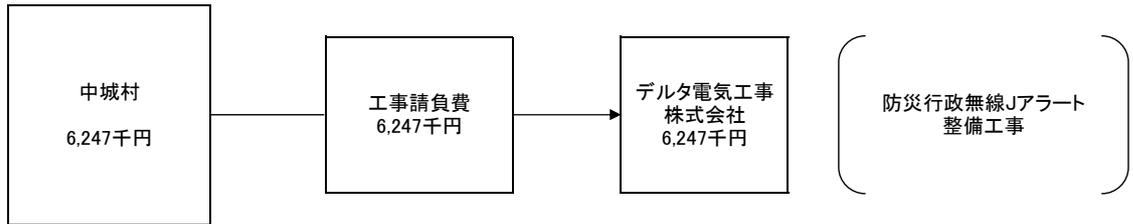
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	Jアラート自動起動機の設置により、災害や有事の際、通信衛星から村に送信される緊急情報を防災行政無線で村民等に瞬時に伝達することが可能となった。 しかしながら、実際に災害や有事が起こった場合、緊急情報伝達手段について防災行政無線以外にも伝達手段の確保を検討する必要がある。 現在、情報を得るための手段は多種多様化しており、さまざまなメディアや媒体をとおした情報伝達手段の整備が必要と考える。	緊急情報をできるだけタイムロスなく広範に伝達するために、防災行政無線以外にも、Jアラートの受信機から自動起動するような設備・機能の整備が必要と考える。

**今後の取り組み方針**

Jアラートの受信機から、自動連携により携帯電話等へ緊急速報メール(エリアメール)を送信可能にする設備・機能の整備等を検討していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
6,247	6,247	4,998	1,249	0



資金の用途の流れ・費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により選定した。実績等を鑑みても妥当であったと考える。 ○費目・用途についても活動目標・成果目標が明確であったため、適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	中城村
------	-----

**平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	6-① 中城の歴史と文化を学ぶプロジェクト	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進
担当部課名	教育総務課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

**事業内容**  
「郷土の歴史・文化についての学習」を充実させるため、小中学校の教材等を編纂する。平成24年度は小学生向け教材の企画検討、執筆者編集委員会の設置等を行った。

**実施方法**  
直接実施    委託    補助    負担    その他（ ）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	1,983				
	(b) 予算現額	1,983				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	1,983	0			
	B. 執行済額	1,983				
	うち交付金充当額	1,586				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。				

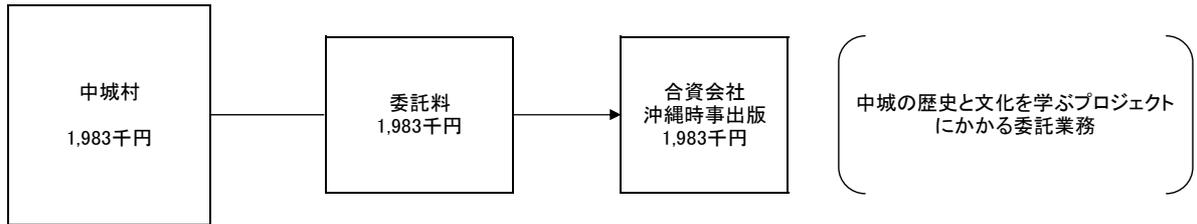
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
	目標	( 幼少学校教材の作成 )	( )	( )	( )
	実績	教材作成に向けた各種会議の実施			
	目標		( )	( )	( )
	実績				
達成状況説明	平成24年度は、教材作成の基盤となる編集方針や方向性を策定するために、企画会議と編集会議を行った。各教材のプロット案が出来上がり、次年度の編集作業へつなぐ事ができる。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			24年度			
	目標	( — )	( 幼少学校教材の作成 )	( )	( )	( — )
	実績		絵本 読み物 3年・4年・5年・6年教材教材プロットの作成			
	目標	( )	( )	( )	( )	( )
	実績					
進捗状況説明	幼稚園絵本・紙芝居 小学校低学年用読み物教材、小学校3年～6年教材、脚本のプロットが完成した。計画どおりの進捗状況である。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(ア) 3年～6年の教材の編集委員が、教職員の定期人事異動や校内人事等で継続できない可能性があり、24年度作成した教材プロットの引き継ぎが必要である。また編集委員が替わった場合のプロット変更への対応等に留意する。	趣旨・要項等の確認を行い、プロットに基づき教材を作成する。また、時間的な余裕がある場合には、検証のための授業実践を行い教材の見直しや改善を図っていく。
	(イ) 教育課程特例校申請について詳細な検討が必要であり、県教育庁担当課との事前調整を行う。	
今後の取り組み方針		
●当初計画の通り、幼稚園絵本・紙芝居、小学校低学年用読み物教材、小学校3年～6年教材を平成25年度末までに編集・印刷・製本を行う。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,983	1,983	1,586	397	0



資金の 用途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、小学校の教育課程、カリキュラムを踏まえたうえでの提案ができる実績、知識等を勘察した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について事業報告書で確認したが適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

市町村名	中城村
------	-----

**平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	6-③ きめ細かな児童生徒支援事業	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア
				沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)
担当部課名	教育総務課				

**事業内容**  
 特別に支援を要する児童生徒等について、個に応じたきめ細かな支援を行うため、特別教育支援員や学習支援員を各学校に配置する。不登校となっている児童生徒に対し、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置し、児童生徒と保護者に対して、精神的にきめ細かく支援する体制を整備した。

**実施方法**  
 直接実施     委託     補助     負担     その他 ( )

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	4,917				
	(b) 予算現額	3,278				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,639				
	(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	3,278	0			
	B. 執行済額	3,278				
	うち交付金充当額	2,622				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。				

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		生徒指導支援者配置数 小学校:4人、中学校:2人、教育相談室:2人	目標 ( 小学校:4人 中学校:2人 教育相談室:2人 )	( )	( )
	実績 小学校:4人 中学校:2人 教育相談室:2人				
	目標 ( )	( )	( )	( )	
	実績				
達成状況説明	特別に支援を要する児童生徒や不登校になりがちな児童生徒への、個に応じたきめ細かな支援を行った。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)	
		生徒指導支援者配置数 小学校:4人、中学校:2人、教育相談室:2人	目標 ( 8人 )	( 小学校:4人 中学校:2人 教育相談室:2人 )	( )	( )	( 11人 )
			実績	小学校:4人 中学校:2人 教育相談室:2人			
			目標 ( )	( )	( )	( )	( )
	実績						
進捗状況説明	個に応じたきめ細かな支援を行うため、当初の予定通り生徒指導支援員を8人配置した。 ・不登校人数 (H24年度 6人 → H25年度 0人(目標))						

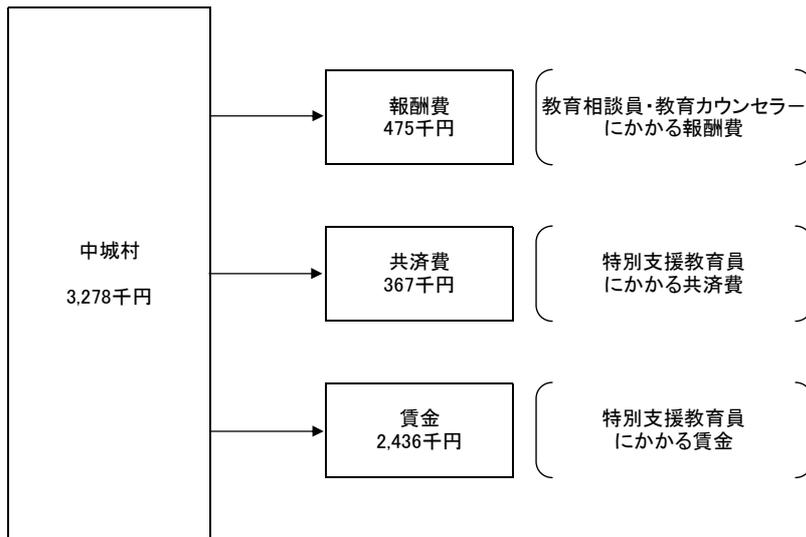
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・個に応じたきめ細かな支援を行い、特別支援教育環境の充実が図れた。しかし、支援を必要とする気になる児童生徒は毎年増加傾向にある。支援対象者の増加や多様なケースへの受皿づくりのために、今後も特別支援教育の資質向上や機能強化のための対策を行っていかなければならない。</p>	<p>・特別支援教育の資質向上のため研修会等を行っていく。</p>

**今後の取り組み方針**

・教育相談員及び特別支援教育員の支援により、今後も不登校児童の減少へと繋げ安全な教育環境の提供を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,278	3,278	2,622	656	0



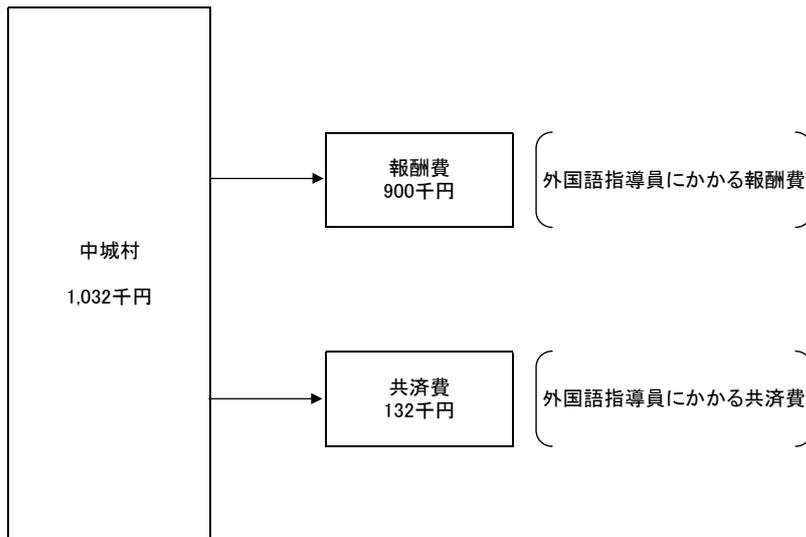
資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○児童生徒の個に応じたきめ細かな支援を行った。又、教職員を補佐し、保護者に対する支援も充実させた。費目・使途については事業目的達成の観点から適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-④ 国際理解人材育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(4)-ア			
	担当部署名	教育総務課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	国際社会、情報社会に対応した教育の推進			
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)			
事業内容	学校の外国語活動及び国際教育を充実させるために英語指導の補助員を配置した。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,336					
		(b) 予算現額	1,032					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 304					
		(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)		1,032	0				
	B. 執行済額		1,032					
	うち交付金充当額		825					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	英語指導員配置数(小学校)	目標	( 1人 )	( )	( )	( )		
		実績	1人					
		目標	( )	( )	( )	( )		
		実績						
達成状況説明	・児童生徒が目標を持ちながら意欲的に学習に取り組めるよう、英語指導員を配置した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)	
	英語指導員配置数(小学校)	目標	( 1人 )	( 1人 )	( )	( )	( 2人 )	
		実績		1人				
		目標	( )	( )	( )	( )	( )	
		実績						
	進捗状況説明	・当初予定とおり、英語指導員を1人配置した。 ・中学生の英検取得者数(H24年度 27人→ H25年度 40人(目標))						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・外国語指導員の配置は、平成24年度は3校(小学校2校、中学校1校)に1人であった。平成25年度は小学校が1校増え4校(小学校3校、中学校1校)となるため、増員の検討が必要となってくる。	・今後は、外国語指導員の増員を検討。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
・国際社会に対応する能力を身に付ける人材育成を推進する。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,032	1,032	825	207	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		中城村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-⑤ 沖縄文化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-イ		
	担当部課名	教育総務課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童生徒が沖縄の文化である歌や三味線をはじめ、様々な音楽を継承するために、楽器等を購入し、音楽の授業やクラブ活動等の環境を整備した。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,028				
		(b) 予算現額	5,028				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	-				
		A. 計 (b+d)	5,028	0			
	B. 執行済額		5,028				
	うち交付金充当額		4,022				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	楽器等音楽環境整備 2小学校と1中学校への音楽備品購入一式	目標	( 楽器購入 一式 )	( )	( )	( )	
		実績	楽器購入 一式				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	・音楽の授業やクラブ活動の環境整備を行い、村内各学校との合同練習及びイベントへ参加した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	楽器等音楽環境整備 各小中学校への音楽備品購入一式 ※単年度実施を目標としているため、基準値・目標値の設定なし	目標	( ー )	( 楽器購入 一式 )	( )	( )	( ー )
		実績		楽器購入 一式			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	・音楽備品を購入することにより、各種音楽コンクールへの参加を実施できた。					

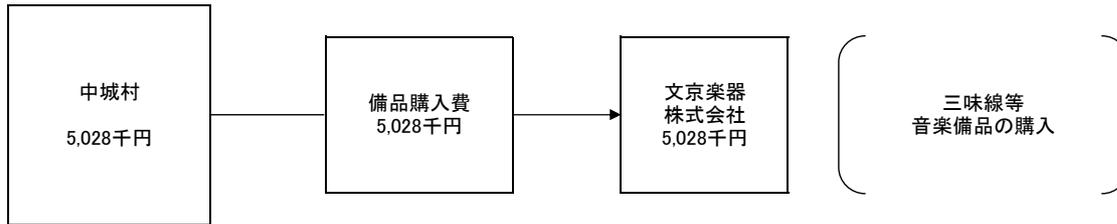
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・琉球楽器と管弦楽器等のコラボを取り入れ、枠を超えた音楽に親しむ環境づくりができ、教育を通して沖縄文化芸能の推進を図れた。	・琉球楽器と管弦楽器等のコラボを取り入れ、枠を超えた音楽に親しむ環境、教育を通して沖縄文化芸能の推進を図れたことから、今後は各種イベントへの積極的な参加を検討して必要がある。

**今後の取り組み方針**

・PTA・学校行事及び地域の伝統芸能祭り・イベントへ積極的に参加する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,028	5,028	4,022	1,006	0



資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・契約業者は企業組織、実績、知識等を勘案して入札により選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

市町村名	中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-⑥ 学校施設窓ガラス遮熱対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
担当部署名	教育総務課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童等の学習環境の改善等を図るため、学校の窓ガラスに加工を施し、亜熱帯特有の強い日差しから健康被害をもたらす紫外線と、温度上昇をさせる赤外線など、日中の教室の授業を阻害する無益な太陽光を遮断して、快適で健康的な環境を整備した。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	19,404					
	(b) 予算現額	17,745					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,659					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	17,745	0				
	B. 執行済額	17,745					
	うち交付金充当額	14,196					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H24成果目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	窓ガラスフミンコート吹き付け	目標	( )	( )	( )	( )	
		実績	小学校2校 785.96㎡ 中学校1校 455.75㎡				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	・紫外線、赤外線をカットするため窓ガラスに加工を施した(断熱・遮熱効果)						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	窓ガラスフミンコート吹き付け	目標	( — )	( )	( )	( )	( — )
		実績		小学校2校 785.96㎡ 中学校1校 455.75㎡			
	※単年度実施を目標としているため、基準値・目標値の設定なし						
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	・窓ガラスへ加工を施すことで、亜熱帯特有の強い日差しから健康被害をもたらす紫外線と、温度上昇をさせる赤外線など、日中の教室の授業を阻害する無益な太陽光を遮断して、快適で健康的な学習環境を提供できた。さらに、冷房費の節減効果もあったことからCO2の削減にも繋がった。						

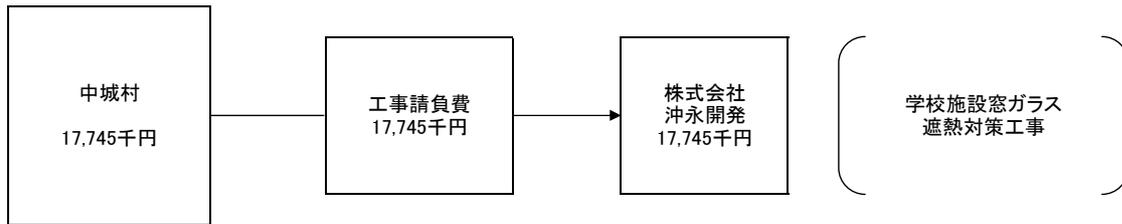
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・紫外線量測定の結果UVカット率87.9%であり、快適で健康的な環境を十分に提供できたと考える。	・十分に目標を達成できたため、問題なし。ただし、学校施設のみならず、他の教育関連施設にも実施すべきか検討が必要。

**今後の取り組み方針**

・学校施設以外の施設も必要か検討する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
17,745	17,745	14,196	3,549	0



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・契約業者は企業組織、実績、知識等を勘案して入札により選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	中城村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-⑦ 児童館・子育て支援センター強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ			
担当部課名	福祉課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実			
					Ⅲ-3-(1)			
事業内容	子育ての不安を解消し、子供たちへの虐待を防ぐため、相談体制の強化を図るとともに、地域のボランティア育成を強化した。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		8,770					
			8,607					
			▲ 163					
			—					
			8,607	0				
	B. 執行済額		8,607					
	うち交付金充当額		6,885					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	指導員、保育士の配置 (児童館：3人、子育て支援センター2人)	目標	児童館：3人 (子育て支援センター：2人)	( )	( )	( )	( )	
		実績	児童館：3人 (子育て支援センター：2人)					
		目標	( )	( )	( )	( )		
		実績						
達成状況説明	児童館・支援センターに指導員を配置し、育児に励む保護者が抱える不安を解消するため、情報交換や相談体制の強化を図った。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (27年度)	
	指導員、保育士の配置 (児童館：3人、子育て支援センター2人)	目標	児童館：3人 子育て支援センター：2人	児童館：3人 子育て支援センター：2人	( )	( )	( )	( 6人 )
		実績		児童館：3人 子育て支援センター：2人				
		目標	( )	( )	( )	( )	( )	
		実績						
	進捗状況説明	児童館・支援センターで、イベントを開催する事で、保護者間や地域との繋がりを作る事ができた。今後もイベントを通し、繋がりを深めるとともに、地域のボランティア育成に努めていきたい。						

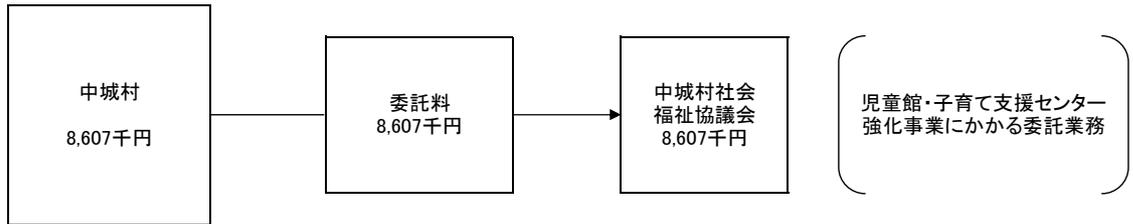
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	児童館・支援センターでのイベントを通し保護者同士の繋がり作りをしているが、今後、主体となる地域のボランティアサークルの育成にはまだ至っていない。	イベント企画など、運営はすべて指導員が主体となっているが、保護者にも参画してもらい、地域ボランティアサークルの育成に結びつける。

**今後の取り組み方針**

保護者間でも繋がりができつつあるので、今後は保護者にもイベント運営に携わってもらい、保護者主体でイベント運営ができるように取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
8,607	8,607	6,885	1,722	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業者は、これまでの実績を踏まえ、妥当であると考えている。</li> <li>・経費の支出についても、事業目的に合致しており、実績報告の確認により、適正であった。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

市町村名		中城村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8	ごさまるエネルギープロジェクト		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(5)-ア		
	担当部署名	企業立地・観光推進課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	研究開発・交流の基盤づくり Ⅲ-11-(3)	
事業内容	中城村に建設中の吉の浦火力発電所は、沖縄で初めて導入されるLNG(液化天然ガス)を燃料として発電を行う。液化された天然ガスが気化する際に発生する廃熱を中城村の地域振興と地域エネルギーシステムの確立に利用するため琉球大学及び中城村商工会の産官学連携により共同研究を行った。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(a) 当初予算額	3,000				
	(b) 予算現額	2,773					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 227					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	2,773	0				
	B. 執行済額	2,773					
	うち交付金充当額	2,218					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	産学官による、再生可能エネルギーの共同研究	目標	( 共同研究 )	( )	( )	( )	
		実績	共同研究実施				
	琉球大学・中城村連携推進協議会の発足	目標	( 協議会発足 )	( )	( )	( )	
		実績	協議会発足				
		目標	( )	( )	( )	( )	
	実績						
達成状況説明	琉球大学と締結している包括連携協定に基づき協議会を発足した。また、協議会の委員は、琉球大学および中城村の他、中城村議会、中城村商工会および冷熱エネルギーに関連する企業の各代表により構成した。そのため、共同研究を進めるにあたり、各立場から意見を伺うことが可能になり、より具体的な研究成果が期待できる。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		琉球大学・中城村連携推進協議会の発足(産学官による再生可能エネルギーの共同研究)	( - )	( 会発足 )	( )	( )	( - )
		実績	会発足				
	冷熱エネルギー発生と発電ガス利用の仕組み及び制度調査(産学官による再生可能エネルギーの共同研究)	目標	( - )	( 調査実施 )	( )	( )	( - )
		実績	調査実施				
	先行調査の整理と評価(産学官による再生可能エネルギーの共同研究)	目標	( - )	( 整理評価実施 )	( )	( )	( - )
		実績	整理評価実施				
先進事例調査(産学官による再生可能エネルギーの共同研究)	目標	( - )	( 調査実施 )	( )	( )	( - )	
	実績	調査実施					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年12月琉球大学・中城村連携推進協議会(ごさまるエネルギープロジェクト)が発足した。</li> <li>村長はじめ、商工会会長などの協議会メンバーが、-162℃の液化天然ガスから発電用のガスに気化するまでの工程において発生する冷熱エネルギーの仕組みを学んだ。</li> <li>平成25年2月4日から7日まで先進地事例調査実施した。</li> <li>先進地調査の整理と評価を実施した。</li> </ul>						

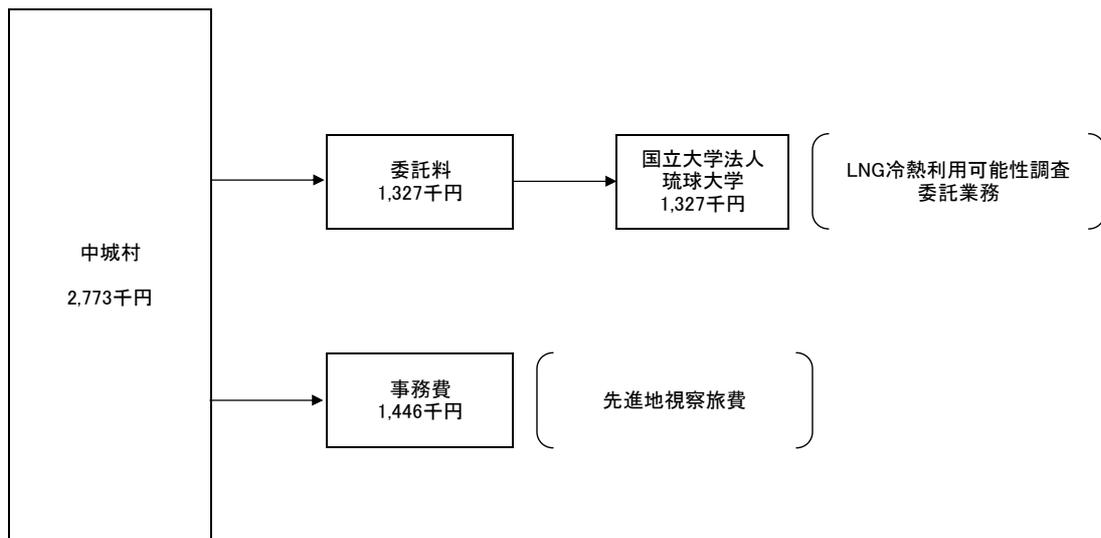
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な事業提案を目標に共同研究の内容と視察先を決定する。</li> <li>冷熱利用における設備の簡素化・低コスト化や運転コストの低減化を目指す。</li> <li>先進地の実情の把握と応用の考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入におけるコスト算出する。</li> <li>出口調査に基づく事業化の提案を目指す。</li> <li>カスケード式による各産業での利用方法の検討する。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- 具体的な事業案の検討および試験を検討する。
- 事業所への情報提供および協議会への参加要請を検討していく。
- 各関係機関に対して研究結果の周知と設備導入に向けた要請活動を行っていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,773	2,773	2,218	555	0



資金の 用途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>包括連携協定に基づき委託先を決めているので妥当と考える。</li> <li>費用・使途については事業目的達成の観点から必要なものへの支出で、支出等に関する書類により確認、適正であった。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	